

科目名称	運動学
授業コード	AF202
英語名称	Kinesiology
学期	2024年度通年（前・後）
単位	2.0
担当教員	大澤 一郎
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	「ヒトの動き」および「運動の構造」のメカニズムを理解し、運動および動きの評価の基礎を学習することによって、実践的運動理論を柔道整復の実践へ応用することを学びます。運動に用いられる運動器のしくみとその働き（機能解剖）を理解し、そこから運動（動き）の一連および局面の構造をバイオメカニクスの観点での検討・学習をします。
科目に関連する実務経験と授業への活用	医療系大学および付属機関にて教育・研究、大学付属病院にて総合診断診療・研究・指導に携わってきた歯科医師が授業を担当します。
到達目標	解剖学・運動学の関連用語を理解し、運動力学について学習します。身体運動に関する原理を骨や関節構造から理解でき、運動学の視点から説明できることを目標とします。さらに柔道整復への応用を目的とした、上肢・下肢・体幹の関節運動学および歩行の特徴を理解し、説明できることを目標とします。 ヒトの運動にかかわる身体の機能と構造を理解することは、運動機能の障害による異常運動とその度合いを、正常運動からの逸脱とその程度としてとらえられるようになります。講義を通じて、運動を構成する関節や骨格筋の機能、基礎的な力学、運動に関する神経学的な基礎知識などを身につけ、それらの知識をベースとして基礎的な運動である姿勢制御や歩行を理解することができるようになります。
計画・内容	第1回 オリエンテーション（運動学の講義の進め方など） 第2回 身体運動と力学 1 身体運動に関する力、人体における単一機械構造 第3回 身体運動と力学 2 運動の法則、仕事と力学的エネルギー 第4回 運動器の構造と機能 1 骨と関節の構造と機能 第5回 運動器の構造と機能 2 骨格筋の構造と機能 第6回 神経の構造と機能 第7回 運動感覚 第8回 反射と随意運動 第9回 四肢と体幹の運動 1 上肢帯 第10回 四肢と体幹の運動 2 肩関節 第11回 四肢と体幹の運動 3 肘関節と前腕 第12回 四肢と体幹の運動 4 手関節と手 第13回 四肢と体幹の運動 5 股関節

計画・内容	<p>第14回 四肢と体幹の運動 6 膝関節</p> <p>第15回 四肢と体幹の運動 7 足関節と足部</p> <p>第16回 四肢と体幹の運動 8 体幹と脊柱</p> <p>第17回 四肢と体幹の運動 9 頸椎</p> <p>第18回 四肢と体幹の運動 1 0 胸椎と胸郭</p> <p>第19回 四肢と体幹の運動 1 1 腰椎、仙椎および骨盤</p> <p>第20回 四肢と体幹の運動 1 2 顔面および頭部</p> <p>第21回 姿勢 1 重心</p> <p>第22回 姿勢 2 立位姿勢の制御</p> <p>第23回 歩行 1 歩行周期</p> <p>第24回 歩行 2 歩行の運動学的分析</p> <p>第25回 歩行 3 歩行のエネルギー代謝</p> <p>第26回 歩行 4 異常歩行</p> <p>第27回 運動発達</p> <p>第28回 運動学習 1 運動技能学習の過程</p> <p>第29回 運動学習 2 学習の転移</p> <p>第30回 これまでの復習とまとめ</p>
授業の進め方	教科書およびPCによるプレゼンテーションを用いて授業を行います。必要に応じて演習を行います。
能動的な学びの実施	学生への質問も活発に行う予定なので、積極的な授業態度が期待されます。
授業時間外の学修	<p>授業前に予め教科書の該当箇所を読み、関連する内容を解剖学および生理学の教科書も駆使して不明な点をまとめておいてください（各回1時間）</p> <p>授業後に講義の内容をまとめておいてください（各回1時間）</p>
教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <p>全国柔道整復学校協会監修 齋藤宏・鴨下博 著 運動学 第3版 医歯薬出版 2012年</p> <p>全国柔道整復学校協会監修 岸清・石塚寛 編 解剖学 改訂第2版 医歯薬出版 2008年</p> <p>全国柔道整復学校協会 監修/彼末一之 編 生理学 改訂第4版 南江堂 2020年</p>
成績評価方法と基準	<p>確認テスト（15%）</p> <p>定期試験（85%）</p>
課題等に対するフィードバック	確認テストは返却し、授業内で解説を行います。
オフィスアワー	CampusSquareを参照

留意事項	中間試験を前期定期試験期間中に実施します。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	非対面授業になった場合、「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」は以下の通りです。 授業の進め方 zoomを用い、時間割通りの時間帯に、オンライン授業を実施します。 zoomのURLや授業資料等はCampusSquareに掲示し配信します。 成績評価方法と基準 zoom参加と課題提出状況で出欠を登録し、2/3以上の出席を条件とし期末試験の成績(100%)で評価します。